

2013年3月期 第1四半期決算概要



2012年7月30日
株式会社プロトコーポレーション (4298)

連結主要データ

発行済株式総数(百万株)	10.4
時価総額(億円) ※2012年6月末	249.1
1株当たり年間配当(円) ※2013年3月期予想	75.0
1株当たり当期純利益(円) ※2013年3月期予想	280.1
1株当たり純資産(円) ※2012年3月期実績	2,157.7
ROE(%)当期純利益ベース ※2012年3月期実績	15.4
ROA(%)経常利益ベース ※2012年3月期実績	21.9
自己資本比率(%) ※2012年3月期実績	79.0
潜在株式数	-
外国法人等の株式保有比率(%) ※2012年6月末	28.6

大株主(上位10名)

	(千株)
1) 株式会社夢現	3,403 (32.50%)
2) 横山博一	520 (4.96%)
3) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	501 (4.78%)
4) 横山順弘	310 (2.96%)
5) The Chase Manhattan Bank, N.A. London Secs Lending Omnibus Account	280 (2.67%)
6) Morgan Stanley & Co. LLC	253 (2.42%)
7) J.P. Morgan Clearing Corp-Sec	193 (1.84%)
8) Northern Trust Co. (AVFC) Sub Account American Clients	186 (1.78%)
9) The Bank of New York Mellon as Agent BNYM AS EA Dutch Pension Omnibus 140016	175 (1.67%)
10) 齊藤実	170 (1.62%)

(2012年6月30日現在)

セグメント別事業概況 (1)



売上高

(単位:百万円)

	2012年3月期 第1四半期		2013年3月期 第1四半期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	構成比	計画 (B)	構成比	実績 (C)	構成比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
自動車関連情報	6,492	89.8%	7,972	89.7%	8,538	89.0%	2,046	131.5%	566	107.1%
情報登録・掲載料	4,756	65.8%	4,935	55.5%	4,934	51.4%	178	103.7%	△ 1	100.0%
情報提供料	1,736	24.0%	3,036	34.2%	3,604	37.5%	1,868	207.6%	567	118.7%
生活関連情報	640	8.9%	814	9.2%	925	9.6%	285	144.6%	111	113.7%
不動産	41	0.6%	43	0.5%	42	0.4%	1	103.8%	△ 0	98.6%
その他	49	0.7%	60	0.7%	91	1.0%	42	185.6%	31	152.2%
合計	7,223	100.0%	8,890	100.0%	9,599	100.0%	2,375	132.9%	709	108.0%

- 1) 情報登録・掲載料 情報誌・ネットメディアへの広告掲載料等
- 2) 情報提供料 情報誌販売、コンテンツ提供料、EC等
- 3) 2013年3月期の計画値は、2012年5月11日公表の数値であります。

営業利益

(単位:百万円)

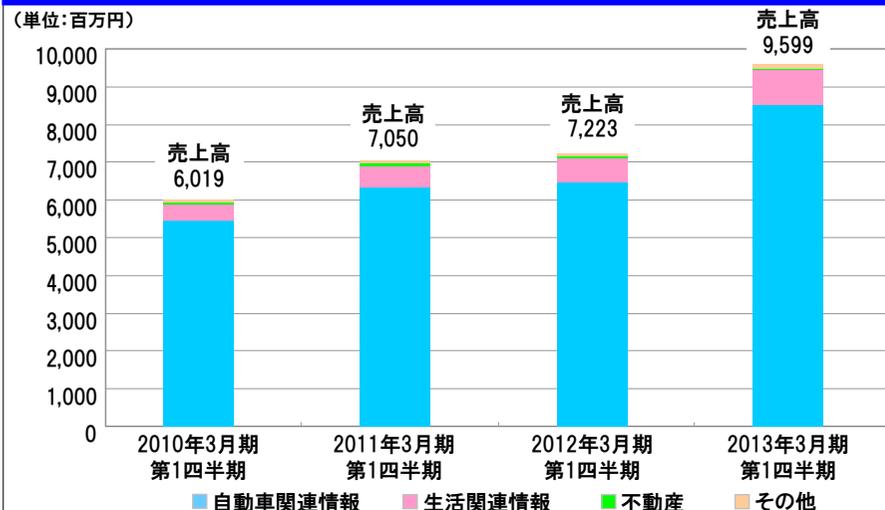
	2012年3月期 第1四半期		2013年3月期 第1四半期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	利益率	計画 (B)	利益率	実績 (C)	利益率	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
自動車関連情報	1,820	28.0%	1,639	20.6%	1,932	22.6%	112	106.2%	293	117.9%
生活関連情報	27	4.3%	20	2.5%	52	5.7%	24	189.7%	32	261.1%
不動産	20	50.6%	23	54.0%	24	56.4%	3	115.6%	0	103.1%
その他	△ 38	-	△ 76	-	△ 55	-	△ 16	-	21	-
管理部門	△ 427	-	△ 407	-	△ 369	-	58	-	38	-
合計	1,403	19.4%	1,198	13.5%	1,585	16.5%	181	112.9%	386	132.2%

- 1) 2013年3月期の計画値は、2012年5月11日公表の数値であります。

セグメント別事業概況 (2)



セグメント別 売上高の推移



自動車関連情報

主にPROTO MALAYSIA Sdn. Bhd. の子会社化(2011年9月2日付)により、情報誌事業については前年同期対比103.2%の増収となりました。
また、IT事業については(株)プロトコーポレーションにおけるIT商品が堅調に推移したことをはじめ、中古車輸出事業を手掛ける(株)キングスオートの子会社化により、前年同期対比165.4%の増収となり、自動車関連情報全体の売上高は2,046百万円の増収(前年同期対比131.5%)となりました。
営業利益については、人件費及びのれん償却額などが増加したものの、増収効果により、112百万円の増益(同106.2%)となりました。

生活関連情報

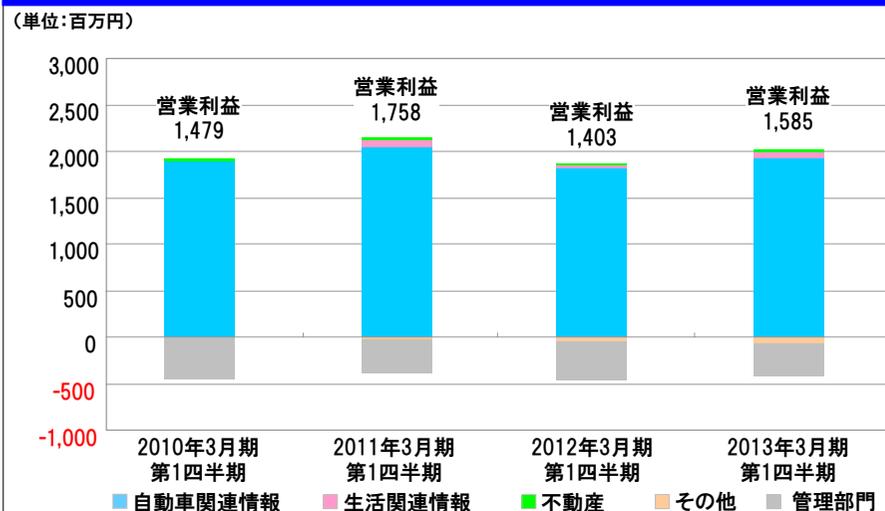
(株)プロトメディカルケアにおいて、介護情報誌「ハートページ」事業のエリア拡大を推進するとともに、2012年3月に取得した社会福祉施設向け通信販売事業の再構築を図り、既存クライアントへの営業展開を通じてシナジーの追求を図ってまいりました。

さらに、インターネット広告代理事業が好調に推移したことから、生活関連情報全体の売上高は285百万円の増収(前年同期対比144.6%)となりました。
営業利益については事業拡大に伴う人件費が増加したものの、(株)プロトメディカルケアにおける増収効果により、24百万円の増益(同189.7%)となりました。

その他

主に(株)プロトデータセンターにおけるBPO事業の受注が拡大したことから、売上高は42百万円の増収(前年同期対比185.6%)となりました。
一方、営業利益についてはソーシャルゲームに係る先行投資が発生したことなどから、55百万円の損失(前年同期は38百万円の損失)となりました。

セグメント別 営業利益の推移

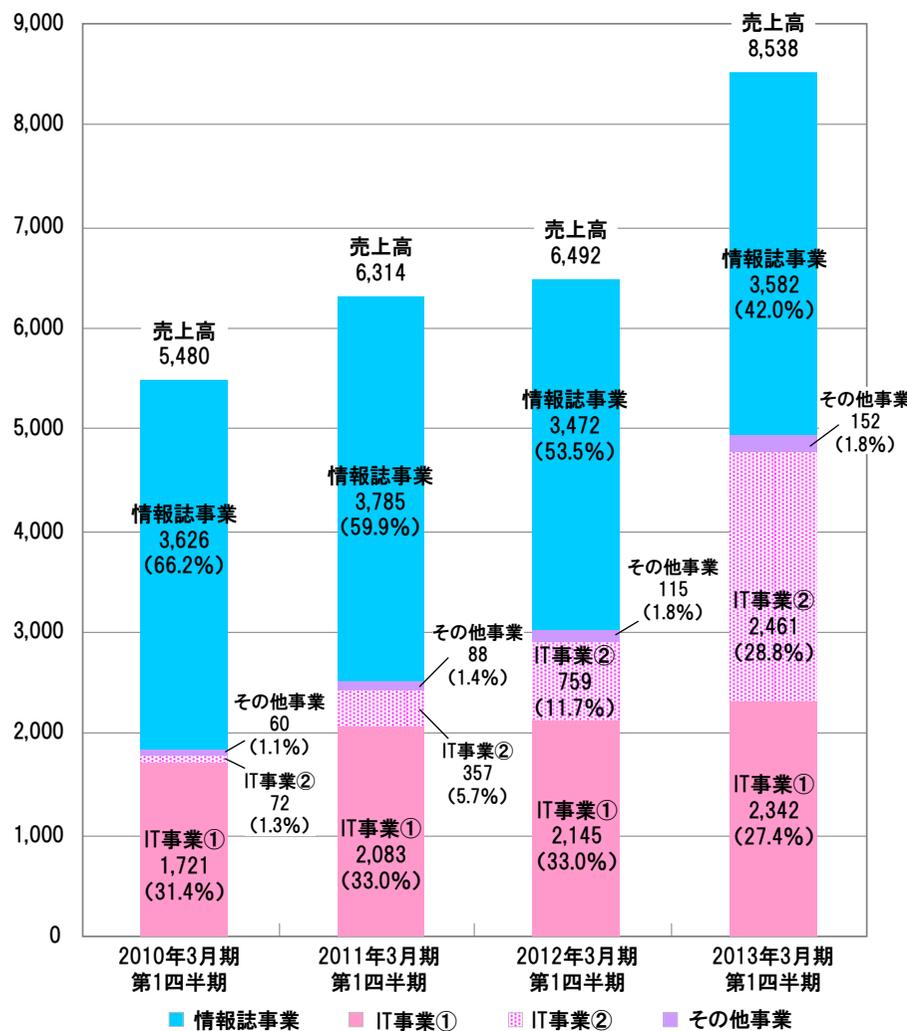


自動車関連情報の事業概況 (1)



自動車関連情報:商品区分別売上高の推移

(単位:百万円) ※カッコ内は構成比



情報誌事業

当四半期においては、引き続き、Goo鑑定等の拡販を通じて、Gooシリーズの取引社数拡大を図ってまいりました。しかしながら、エコカー補助金の影響により、新車販売台数は好調に推移したものの、相対的に中古車の需要が低下したことから、各販売店ともに中古車の仕入を手控える傾向にありました。このため、Gooシリーズの広告出稿量は計画に対し伸び悩む結果となりましたが、PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd. の子会社化等により、情報誌事業の売上高は110百万円の増収(前年同期対比103.2%)となりました。

IT事業① (Goo-net等のオプション商品、BtoBデータサービス等)

Gooシリーズに係るインターネット関連商品ならびに自動車販売支援ツール Data Line PROの拡販を推進するとともに、(株)プロトriosにおける業務支援システムの拡販等により、IT事業①の売上高は196百万円の増収(前年同期対比109.2%)となりました。

IT事業② (EC、中古車輸出支援サービス等)

(株)キングスオートにおける中古車輸出事業に加え、(株)バイクプロスにおけるバイク用品・パーツのEC事業が好調に推移したことから、IT事業②の売上高は1,701百万円の増収(前年同期対比324.0%)となりました。

その他事業 (Goo鑑定等)

Gooシリーズの取引先に対してGoo鑑定 of 積極的な拡販を推進し、鑑定台数が増加した結果、その他事業の売上高は37百万円の増収(前年同期対比132.2%)となりました。

自動車関連情報の事業概況 (2)



Gooシリーズ 四半期累計取引社数の推移



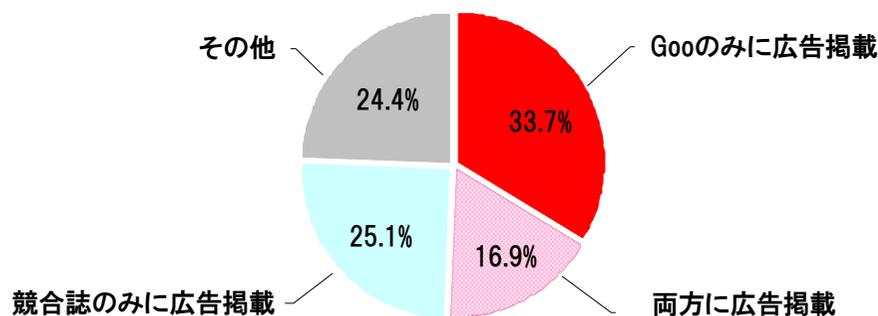
エコカー補助金の影響に伴う中古車需要の減退により、中古車販売店を取り巻く経営環境が厳しい状況で推移する中、Gooシリーズ全体の第1四半期(4-6月累計)累計取引社数は前年同期対比109.0%と増加いたしました。
また、第1四半期(4-6月)における1ヶ月あたりの平均取引単価については、新規エリアへの展開をはじめ、小規模販売店の増加などが影響し、前年同期対比95.0%となりました。



Goo鑑定サービス加盟店数は2012年6月末時点で4,571 ID(前年同月対比137.3%)となりました。

【参考/2012年3月末時点の加盟店数:4,234 ID】

マーケットシェアの状況 (競合比較)



* 競合誌：カーセンサー（但し、四国はMjマガジン、沖縄はクロスロード）

* 数値は全エリアを対象として集計しております。

* 取引社数の集計基準：情報誌に広告を掲載した中古車販売店数

(2012年6月時点・当社調べ)

【マーケットシェアの算出方法の変更について】

従来、マーケットシェアについては各エリアの主要都市のみを対象とした参考値を使用しておりましたが、当期より全エリアを対象としてマーケットシェアを算定しております。

連結損益計算書 (1)



連結損益の状況

(単位:百万円)

	2012年3月期 第1四半期		2013年3月期 第1四半期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
売上高	7,223	100.0%	8,890	100.0%	① 9,599	100.0%	2,375	132.9%	709	108.0%
売上原価	3,010	41.7%	4,526	50.9%	② 5,007	52.2%	1,997	166.4%	481	110.6%
売上総利益	4,213	58.3%	4,364	49.1%	③ 4,591	47.8%	377	109.0%	227	105.2%
販売費及び一般管理費	2,810	38.9%	3,165	35.6%	④ 3,006	31.3%	196	107.0%	△ 159	95.0%
営業利益	1,403	19.4%	1,198	13.5%	⑤ 1,585	16.5%	181	112.9%	386	132.2%
経常利益	1,437	19.9%	1,206	13.6%	1,602	16.7%	165	111.5%	396	132.8%
四半期純利益	827	11.5%	644	7.2%	1,082	11.3%	255	130.9%	438	168.1%

- 1) 売上原価は、返品調整引当金戻入額及び繰入額を加味した数値であります。
- 2) 2013年3月期の計画値は、2012年5月11日公表の数値であります。

販売費及び一般管理費の状況

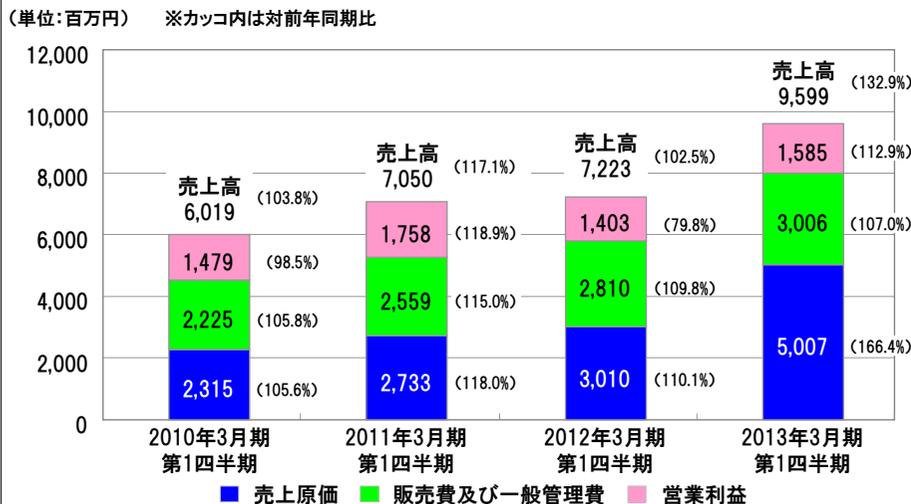
(単位:百万円)

	2012年3月期 第1四半期		2013年3月期 第1四半期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
販売費及び一般管理費	2,810	38.9%	3,165	35.6%	3,006	31.3%	196	107.0%	△ 159	95.0%
人件費	1,371	19.0%	1,542	17.4%	1,456	15.2%	84	106.2%	△ 86	94.4%
広告宣伝費関連	558	7.7%	622	7.0%	604	6.3%	45	108.2%	△ 18	97.1%
その他経費	879	12.2%	1,000	11.2%	945	9.8%	65	107.5%	△ 54	94.5%
社員数	886	-	1,058	-	1,027	-	141	115.9%	△ 31	97.1%

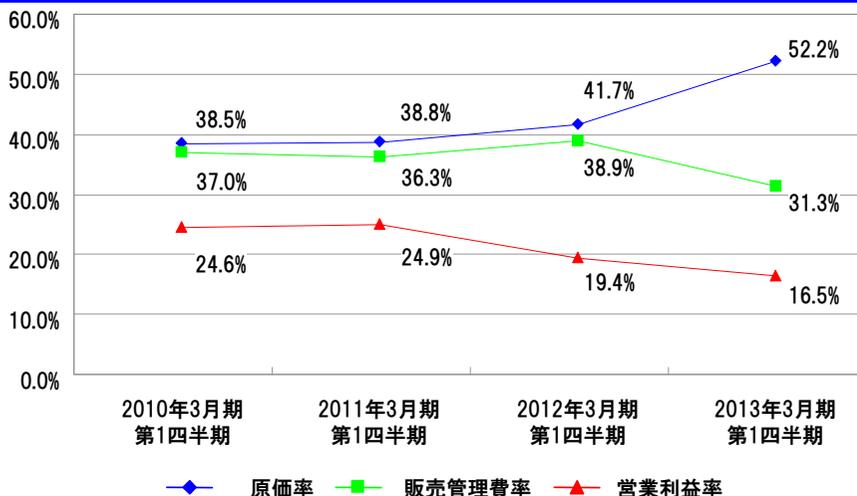
- 1) 広告宣伝費関連には、広告宣伝費ならびに販売促進費の合計値を記載しております。
- 2) 社員数は、6月末時点の正社員数であります。
- 3) 2013年3月期の計画値は、2012年5月11日公表の数値であります。

2013年3月期(第1四半期) 業績概況

業績推移



各指標の推移



Point ① 売上高

前年同期対比では全ての事業セグメントにおいて増収となり、グループ全体で2,375百万円の増収(前年同期対比132.9%)となりました。また、計画対比では108.0%と計画を上回る結果となりました。

Point ② 売上原価

主に中古車輸出事業を手掛ける㈱キングスオートの子会社化(2012年4月1日付)に伴い売上原価が増加したことをはじめ、㈱プロトコーポレーションにおけるインターネット広告代理事業、㈱バイクプロスにおけるバイク用品・パーツのEC事業の売上高が増加したことに伴い、それぞれ売上原価が増加したことから、前年同期対比は166.4%(原価率:10.5ポイント上昇)となりました。また、計画対比についても、当該事業における売上原価が計画を上回ったことから、110.6%と計画を上回る結果となりました。

Point ③ 販売費及び一般管理費

主に連結子会社の増加に伴う社員数の増加により人件費及びその他経費が増加したことから、前年同期対比は107.0%(販売管理費率:7.6ポイント減少)となりました。

一方、主に㈱プロトコーポレーションにおける人件費が計画を下回ったことなどから、計画対比では95.0%となりました。

Point ④ 営業利益

人件費及びその他経費が増加したものの増収効果により、前年同期対比は112.9%となりました。また、計画対比についても、収益性の高いIT商品の売上高が計画を上回ったことなどから、132.2%となりました。

Point ⑤ 当期純利益

前述の通り、営業利益が増加したことに加え、宝路多(上海)広告有限公司の清算結了に伴い税負担が減少したことなどから、前年同期対比は130.9%となりました。

連結貸借対照表



(単位:百万円)

	2012年3月期 (期末)		2013年3月期 (第1四半期)		増減 (B) - (A)
	(A)	構成比	(B)	構成比	
流動資産	15,855	55.5%	17,938	56.3%	① 2,083
固定資産	12,729	44.5%	13,948	43.7%	② 1,218
流動負債	5,573	19.5%	7,587	23.8%	③ 2,014
固定負債	441	1.5%	1,069	3.4%	④ 627
純資産	22,569	79.0%	23,229	72.9%	⑤ 659
総資産	28,585	-	31,886	-	3,301

Point ① 流動資産の増加 (2012年3月期 期末対比 2,083百万円増)

主に㈱キングスオートの子会社化に伴う株式取得に係る支払、未払法人税等の支払が発生したものの、㈱キングスオートの子会社化に伴い、現金及び預金や棚卸資産が増加したことから、前連結会計年度末と比較して2,083百万円増加しております。

Point ② 固定資産の増加 (2012年3月期 期末対比 1,218百万円増)

主に㈱キングスオートの子会社化に伴うのれんを計上したことなどから、前連結会計年度末と比較して1,218百万円増加しております。

Point ③ 流動負債の増加 (2012年3月期 期末対比 2,014百万円増)

主に㈱キングスオートの子会社化に伴い、短期借入金等が増加したことにより、前連結会計年度末と比較して2,014百万円増加しております。

Point ④ 固定負債の増加 (2012年3月期 期末対比 627百万円増)

主に㈱キングスオートの子会社化に伴い、長期借入金等が増加したことにより、前連結会計年度末と比較して627百万円増加しております。

Point ⑤ 純資産の増加 (2012年3月期 期末対比 659百万円増)

配当金の支払が444百万円あったものの、利益剰余金が増加したことから、前連結会計年度末と比較して659百万円増加しております。

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2012年3月期 (第1四半期)	2013年3月期 (第1四半期)	増減	(参考) 2012年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	163	① 1,142	979	3,556
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 303	② 82	385	△ 3,606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 390	③ △ 442	△ 52	△ 907
現金及び現金同等物の期末残高	11,946	12,312	365	11,524
設備投資額(有形・無形固定資産)	342	379	36	845
減価償却費(のれん償却含む)	116	107	△ 9	475

Point ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

主に前連結会計年度に係る法人税等の確定納付による支出が1,008百万円発生したものの、税金等調整前四半期純利益1,601百万円を計上したことなどにより、1,142百万円の収入となりました。

Point ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出が375百万円発生したものの、新たに子会社化した㈱キングスオートの子会社化に伴い、現金及び現金同等物の純増加額が479百万円発生したことなどにより、82百万円の収入となりました。

Point ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に配当金の支払による支出が430百万円あったことなどにより、442百万円の支出となりました。

参考:2013年3月期 四半期連結業績予想



(単位:百万円)

	2011年3月期(実績)					2012年3月期(実績)					2013年3月期(計画)				
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計
売上高	7,050	7,075	7,422	7,232	28,779	7,223	7,501	7,975	7,880	30,582	8,890	9,152	9,972	10,284	38,300
売上原価	2,733	2,884	3,033	3,061	11,712	3,010	3,270	3,500	3,502	13,283	4,526	4,674	5,153	5,455	19,810
売上総利益	4,317	4,190	4,388	4,170	17,067	4,213	4,230	4,475	4,378	17,298	4,364	4,477	4,819	4,828	18,490
販売費及び一般管理費	2,559	2,592	2,674	3,129	10,955	2,810	2,758	2,770	3,112	11,451	3,165	3,247	3,370	3,606	13,390
営業利益	1,758	1,598	1,714	1,041	6,111	1,403	1,472	1,705	1,265	5,846	1,198	1,230	1,448	1,222	5,100
経常利益	1,782	1,610	1,909	1,072	6,375	1,437	1,458	1,739	1,367	6,002	1,206	1,238	1,455	1,229	5,130
四半期(当期)純利益	1,051	891	1,080	173	3,197	827	815	945	687	3,275	644	710	851	724	2,930

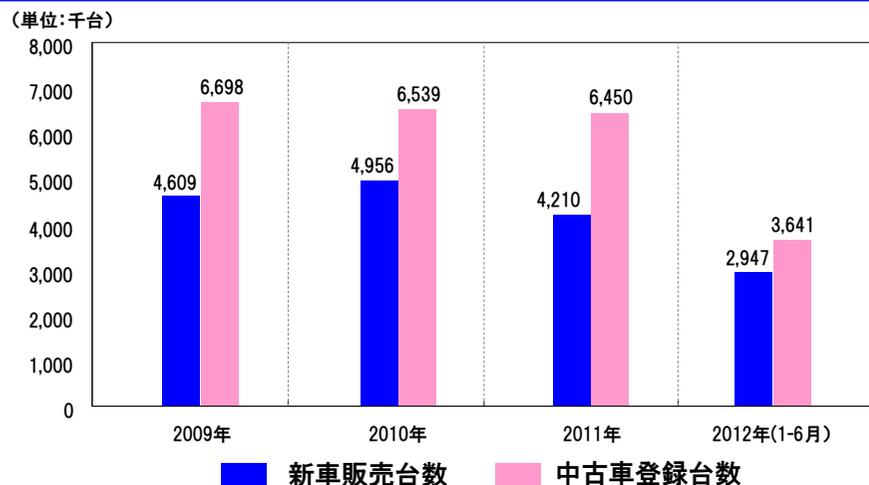
※ 売上原価は、返品調整引当金戻入額及び繰入額を加味した数値であります。

	2011年3月期(実績)					2012年3月期(実績)					2013年3月期(計画)				
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計
売上高	7,050	7,075	7,422	7,232	28,779	7,223	7,501	7,975	7,880	30,582	8,890	9,152	9,972	10,284	38,300
自動車関連情報	6,314	6,276	6,546	6,428	25,566	6,492	6,506	6,852	6,852	26,704	7,972	8,167	8,820	8,922	33,882
情報登録・掲載料	5,000	4,863	5,059	4,907	19,831	4,756	4,826	5,166	5,082	19,830	4,935	5,057	5,259	5,092	20,345
情報提供料	1,314	1,412	1,487	1,521	5,735	1,736	1,680	1,686	1,770	6,873	3,036	3,109	3,560	3,829	13,536
生活関連情報	599	644	701	671	2,616	640	907	1,010	911	3,470	814	875	1,039	1,240	3,969
不動産	48	46	44	42	181	41	41	42	41	166	43	42	43	51	181
その他	87	108	129	89	415	49	45	70	75	240	60	66	69	69	265
営業利益	1,758	1,598	1,714	1,041	6,111	1,403	1,472	1,705	1,265	5,846	1,198	1,230	1,448	1,222	5,100
自動車関連情報	2,049	1,869	1,991	1,370	7,281	1,820	1,823	2,045	1,583	7,272	1,639	1,660	1,812	1,454	6,566
生活関連情報	69	79	90	61	301	27	40	73	86	228	20	37	110	227	396
不動産	29	26	25	23	104	20	19	21	22	83	23	23	20	29	97
その他	△ 27	△ 26	△ 8	△ 28	△ 91	△ 38	△ 48	△ 34	△ 27	△ 149	△ 76	△ 89	△ 91	△ 95	△ 353
管理部門	△ 363	△ 351	△ 384	△ 385	△ 1,484	△ 427	△ 362	△ 400	△ 399	△ 1,589	△ 407	△ 401	△ 403	△ 393	△ 1,607

* 2013年3月期の数値(1Q、2Q、3Q、4Q、通期)は、2012年5月11日公表の計画数値であります。

補足資料

新車販売台数・中古車登録台数の推移(暦年ベース)



出所: (社)日本自動車販売協会連合会、(社)全国軽自動車協会連合会

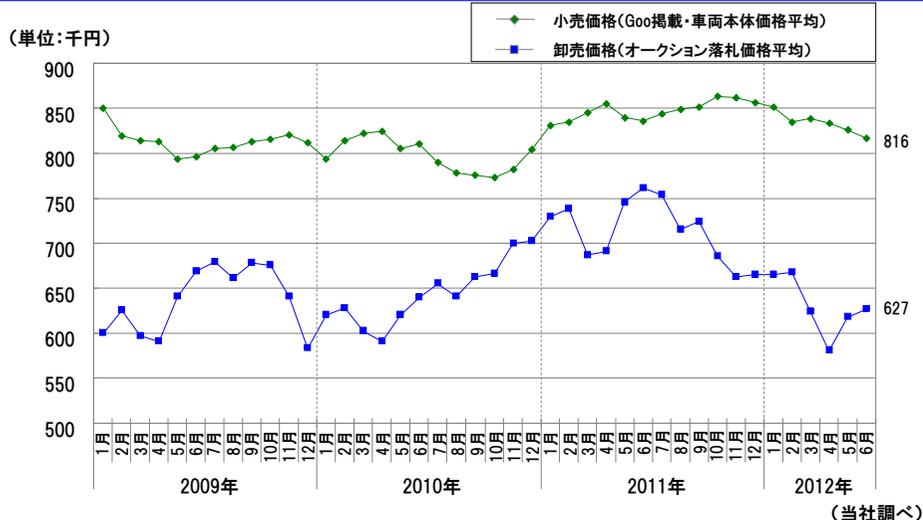
新車販売台数

2012年(1-6月累計)の新車販売台数はエコカー補助金の影響などにより、294万台となっております。(前年同期対比153.6%)

中古車登録台数

2012年(1-6月累計)の中古車登録台数は364万台となっております。(前年同期対比107.4%)

中古車小売・卸売平均価格の推移



中古車の小売・卸売平均価格の推移

エコカー補助金の影響に伴う中古車需要の減退により、小売平均価格は緩やかな下落傾向にあります。

一方、卸売平均価格は2011年6月以降下落傾向が続いておりましたが、2012年4月を底に上昇へ転じております。

【参考:エコカー補助金】

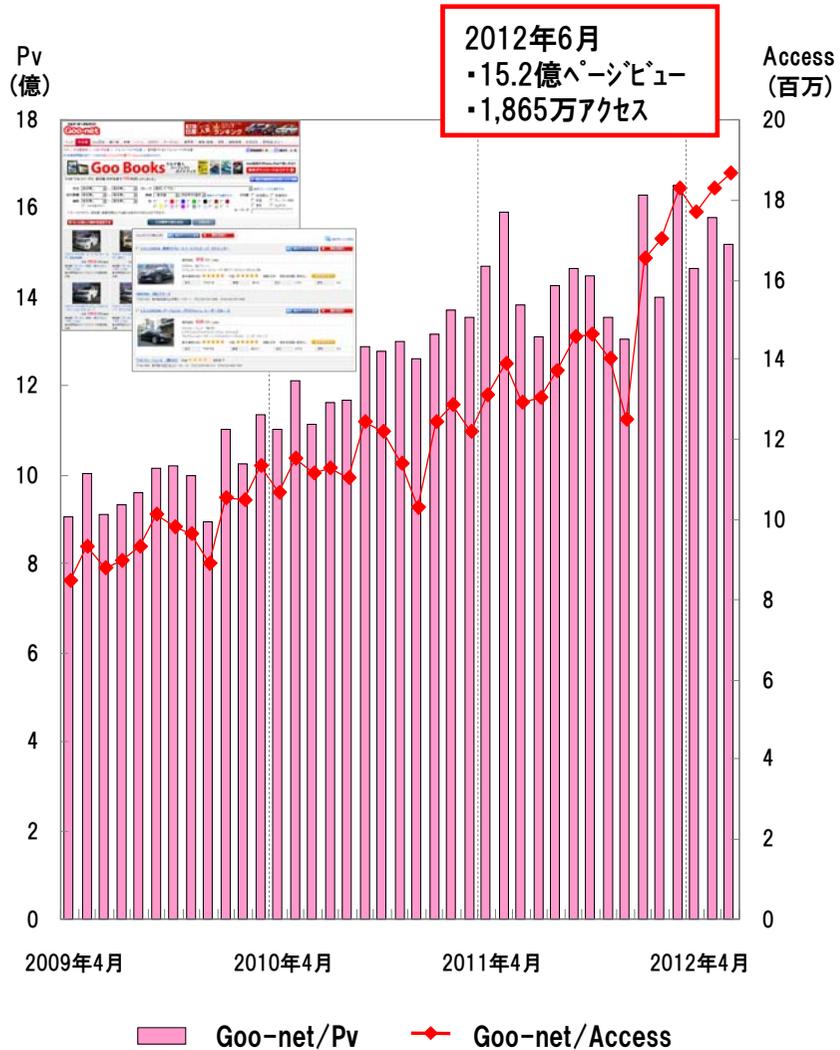
1.第1期:エコカー補助金

2009年4月10日より2010年9月7日 : 予算枠5,837億円、スクラップインセンティブあり

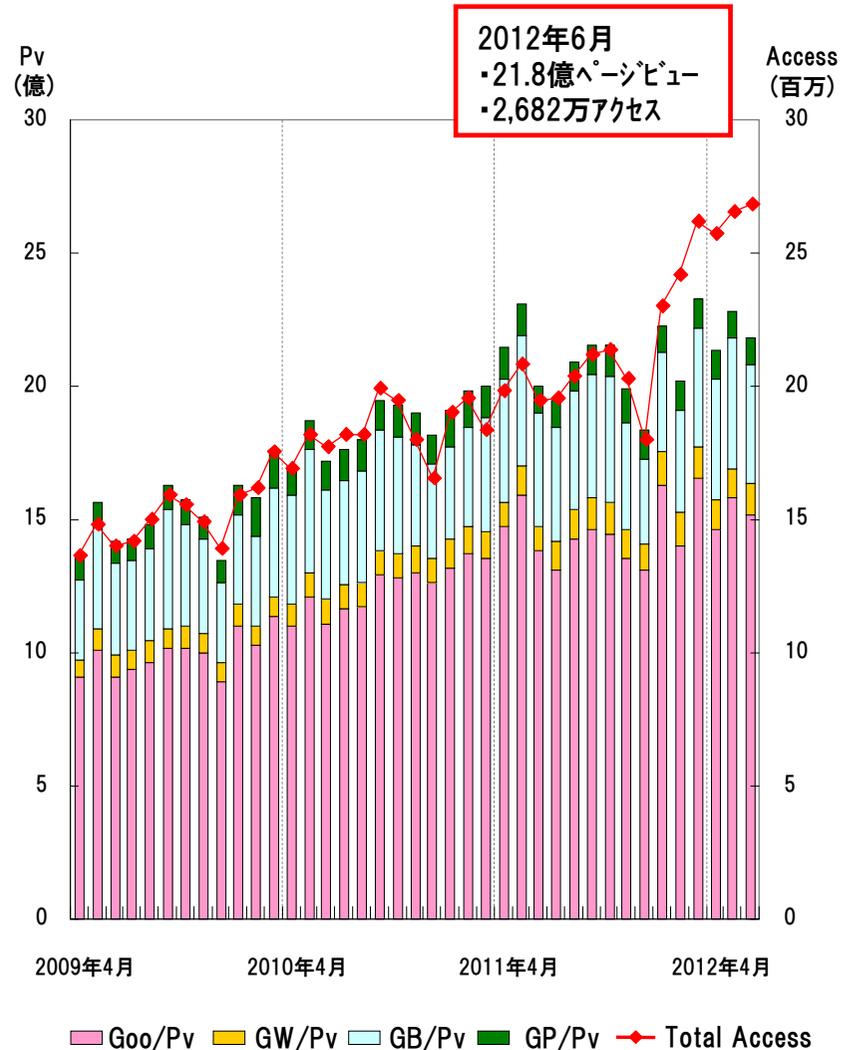
2.第2期:エコカー補助金(現在)

2011年12月20日より2013年1月31日: 予算枠3,000億円、スクラップインセンティブなし

クルマ・ポータルサイト“Goo-net”(PC + Smartphone)



“Gooシリーズトータル”(PC + Smartphone)



※ 本資料に記載の金額は、全て百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 将来予測について

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があります。ご承知おきください。

■ お問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション
名古屋市中区葵一丁目23番14号
TEL 052-934-1519 FAX 052-934-1750
<http://www.proto-g.co.jp/>
4298ir@proto-g.co.jp
IR担当／経営企画室 鈴木